

## アイデア提案書

提案番号	No.18-1		
提出年月日	平成30年 8月14日	受付年月日	平成30年8月14日
所属		職名・氏名	
提案件名	オープンデータによる市勢等のPRと業務の透明化		
提案の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input checked="" type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの		
関係部署	各部署		
現状及び問題点	<p>(実施の必要性について具体的に)</p> <p>現在も市役所の業務内容をホームページなどで公開、また総合計画や備前市の統計での市勢等の状況を数値設定等しているが、より市民に開かれた(親しみやすい)内容にできる可能性がある。</p> <p>また総合計画のようなロングスパンデータでしか市の仕事を表すものがなく、市役所業務が身近に感じられない面がある。また、オープンデータガバメントの考え方は、これからの市民主体の行政の基本のひとつになる。</p>		
提案の内容	<p>(実施の方法について具体的に)</p> <p>市の状況や市役所の業務内容を、具体的に、できるだけリアルタイムで公開することで、市役所業務への理解、親近感や行政への市民参画(協働)への素地が育つと考える。</p> <p><b>【方法】</b></p> <p>① ホームページでオープンデータのプラットフォームを作成する。各部署(課単位)で1~2種類のデータ(ショートスパンデータ)を「リアルタイムデータ50」としてアップする。</p> <p>② リアルタイムデータ50を随時更新する。(週1~月1程度)</p> <p>③ 各データは、オープンデータとしてCSVファイルなどでだれでも利用可能にする。</p> <p>(ショートスパンデータ例) 今週の道路修繕箇所、今週の申請受付数、今月の税収入、今月の出生数など</p> <p><b>【参考】</b></p> <p><a href="http://www.e-stat.go.jp">http://www.e-stat.go.jp</a> 政府統計の統計ダッシュボード</p> <p><a href="http://data.city.sabae.lg.jp">http://data.city.sabae.lg.jp</a> 福井県鯖江市のデータシティ鯖江HP</p>		

<p>期待される効果</p>	<p>(効果について数量等を具体的に)</p> <p>総合計画等でマクロ的な市勢や政策の方向性を示しているが、日常業務のミクロ的な数値で補完することで、より市の課題やその課題解決（業務改善）を行っているという姿勢を示すことができる。</p> <p>また職員では、自分の仕事を今月どの程度こなしたか、といった目安にもなり、業務量管理と連動すれば、それぞれの業務がより分かりやすい。</p> <p>また将来的には、例えばショートスパンデータとして「今週の道路修繕箇所」としてデータを挙げているとすれば、びぜんNAVIと連動して、携帯電話で道路破損の状況を通知すれば、修繕後その内容をHP上でフィードバックする、といった仕組みも考えられる。</p> <p>(考えられるデメリット)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務への負担感</li> <li>・オープンデータ化へのプラットフォーム作成費用</li> <li>・この仕組みを活用できなければ、ムダだということになる。</li> </ul>
<p>担当課検討結果</p>	<p><b>【現状】</b></p> <p>平成 28 年の官民データ活用促進基本法の施行に伴い、岡山県においては、公開サイト「おかやまオープンデータカタログ」を開設しており、県と 13 自治体がオープンデータを公開しています。また、これとは別に高梁川流域の倉敷市以下 10 市町による高梁川流域圏オープンデータサイト（data eye）が公開されています。自治体HPでオープンデータの公開をしているのは岡山市、津山市、玉野市の 3 自治体です。本市については県サイトにも公開していない状況です。</p> <p><b>【検討案】</b></p> <p>「アイデア提案書」のとおり、オープンデータ公開にあたっては、規約、内容・データ形態等の確認や、各部署による継続的な運用ができる体制の構築が前提となります。</p> <p>●「おかやまオープンデータカタログでの公開」について</p> <p>中途からになりますが「おかやまオープンデータカタログ」への参加は可能です。市公開サイトを新たに作成する必要は無く、県作成サイトへデータを提供し公開しますので、経費は発生しません。担当部局において公開サイトの改良を検討しているとのことですが、当面は現状のまま維持する予定とのことです。（担当：岡山県情報政策課）</p>

● 「びぜん navi との連動」について

市アプリ「びぜん navi」について、現在、リニューアルの準備を行っています。機能強化の1つに写真投稿機能があり、道路等の修繕箇所情報等が担当部署へ直接送られますので、市の対応状況をリアルタイムに情報発信することにより、市の日常業務を行う姿勢を示すことができます。ただし、市アプリについては、スマホやタブレットを所有し、アプリをダウンロードする必要がありますので、周知を図り利用を促進していく必要があります。(2018.9.14 現在、登録件数 2,182 件)

● 「プラットフォーム作成」について

備前市によるオープンデータ公開を行う場合は公開用のページを準備する必要があります。ホームページにつきましては、次年度以降にリニューアルをする予定で、本年度は不用ページ削除等の準備を進めています。所管課の都合ですが、リニューアルのタイミングにあわせ検討できればと考えます。

提案事項審査報告書  
(アイデア提案用)

提案番号 No.18-01	所属	職名	氏名
------------------	----	----	----

提案件名 オープンデータによる市勢等のPRと業務の透明化
---------------------------------

問題意識	創造性	有効性	効率性	費用対効果	具体性	実現性	合計 (総合評定)
3.8点	3.1点	3.8点	3.2点	3.0点	3.2点	3.3点	23.4点

優秀賞に至らず。

## 【意見】

- まずは「おかやまオープンデータカタログ」参加を検討・調整することが妥当と考えられる。
- 趣旨としては賛成。
- 市民の市役所業務への理解や行政への市民参画へのきっかけとなることが期待できるが、効果が不明確である点や、業務への負担感などが問題点としてあるため、国が行っている支援策等を活用するなどして検討してはどうか。
- 市民へのオープン感は向上しますが、更新の手間や、公表したデータに対する反響への対応が増えると考え、費用対効果は低めにしております。
- 市役所業務への理解、親近感や行政への市民参画の面で考えると、提案そのものとしては良い提案だと感じるが、現状及び問題点及び期待される効果を考えたときに、提案内容に乏しいと感じた。他市町村でも同様のことをしているところもあるようだが、結果としてどうなっているのか、備前市の場合どうなるのかを提案できるとなおよいと感じた。
- “行政の透明性や説明責任、行政が保有するデータを活用した経済活動の活性化のため、本採用には賛同できます。
- もっとも、目的や重要性について、共通の認識がないと、単に負担が増すこととなり、データの更新が滞ったり、必要なデータの提供がなされていない、データは公開されているが、分析、活用には役立たないという結果になることも危惧されます。
- そのため、誰に対して、何のために、どのようなデータを提供するが必要と考えるか？データの提供により何が得られるのか？現状で公表されている情報にアクセスしている人がどの程度いるのか？どう活用されているのか？など、実現までには議論が必要になる事項も多いのではないかと思います。
- 実現までにはハードルもあるかと思いますが、抽象的なレベルでは本施策の必要性は否定できないと思いますので、議論に着手するきっかけとして、本提案が採用されるべきであると考えます。
- “おかやまオープンデータカタログに参加程度で良いと思う。
- 道路修繕箇所等は、情報として持っていることは必要だが、公開までは必要ないと考える。区長や通報者への連絡を丁寧におこなえば良いと考える。”
- 道路等の修繕箇所情報がリアルタイムで見られると便利だと思いました。